

令和3年度地域運動部活動推進事業  
成果報告書

～朝日町型部活動コミュニティクラブ～

朝日町教育委員会

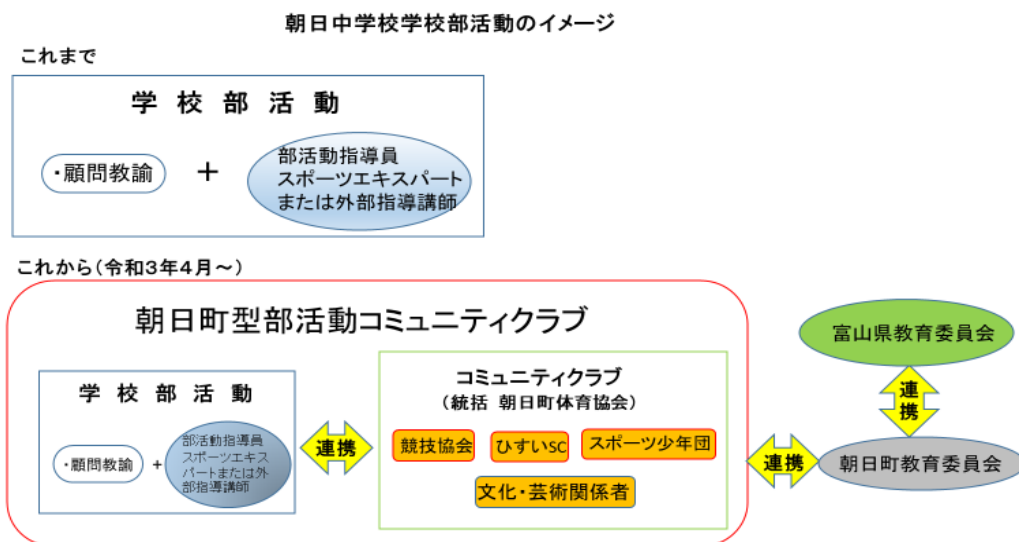
## 1. 趣旨・目的

持続可能な部活動と教員の負担軽減の両方を目指し、地域で子どもを育てる部活動運営として、部活動の一部を地域クラブ活動として実施するもの。

## 2. 経緯

近年、学校部活動をとりまく環境が厳しさを増しており、生徒の減少に伴う部活動数の減少、学校の縮小化に伴う教員の負担増加、さらに教員の人事異動により、生徒にとって望ましい指導を継続して受けられないといった多くの課題がある。

こうしたことから、令和2年7月に学校教員の負担を減らすとともに地域の方々の力を借りて生徒により良い活動の場を提供できるよう、学校部活動を地域クラブ活動へ段階的に移行するため、町体育協会が中心となり、競技団体やスポーツ少年団、文化芸術関係者や学校関係者等で組織する「地域と連携した部活動の在り方検討委員会」を立ち上げ、検討を重ね、令和3年度より、持続可能な部活動と教員の負担軽減の両方を実現できるようにするための仕組みとして、「朝日町型部活動コミュニティクラブ」を設立し、学校部活動の一部を地域クラブ活動として移行し実施することとした。



- (1) 朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会を設置
  - ・教育委員会内に設置
  - ・朝日町型部活動コミュニティクラブの運営に関する協議及び業務  
(令和3年4月、令和4年2月)
- (2) 地域クラブ指導者、学校部活動顧問、町教委との全体調整会議
  - ・朝日町型部活動コミュニティクラブの運営方法、クラブ指導者と部活動顧問との連絡・調整
  - ・施設利用等に係る検討事項、活動により生じた課題等の解決に向けた協議等  
(令和3年4月、7月、令和4年3月)
- (3) 生徒、保護者、クラブ指導者、教員に対し、アンケート調査
  - ・地域移行等に関するアンケート  
(令和3年7月、令和4年2月)

### 3. 実施概要

地域と学校が連携・協力した「朝日町型部活動コミュニティクラブ」を設立・運営し、学校教員の負担を減らすと共に地域の方々の力をお借りして、生徒のスポーツ、文化・芸術環境を充実させるとともに、生徒の自主性・主体性を尊重した多様な活動ができる場を提供する。

◎運営主体 朝日町型部活動コミュニティクラブ

◎拠点校 朝日町立朝日中学校

在籍生徒数：210名 ※令和3年4月1日現在

職員数：29名

部活動数 … 運動部：9部活 文化部：3部

◎参加部活動・参加人数 8部活動 148名 (運動部:127名、文化部:21名)

【運動部】バスケットボール 24名

柔道 15名

陸上競技 28名

卓球 11名

剣道 10名

ソフトテニス 12名

バレーボール 27名

【文化部】吹奏楽 21名

◎指導者 クラブ指導者 17名 (うち兼職兼業2名)

(部活動指導員、スポーツエキスパート、競技協会委員など指導実績のある指導者、兼職兼業の許可を受けた教員)

#### 【運動部】

No.	性別	年齢	種目	競技歴	指導歴	指導者資格	現所属	備考
1	男性	60代	バスケットボール	55年	45年	JBA D級コーチ	無職	朝日町バスケットボール協会 会長
2	男性	40代	バスケットボール	30年	12年	JBA D級コーチ	会社員	朝日町バスケットボール協会 会員
3	男性	40代	柔道	35年	16年	(公財)全日本柔道連盟公認 柔道指導員資格 B指導員	団体職員	朝日町柔道協会 会員
4	男性	30代	柔道	29年	1年	(公財)全日本柔道連盟公認 柔道指導員資格 C指導員	公務員	朝日町柔道協会 会員
5	男性	40代	陸上競技	39年	29年	(公財)日本スポーツ協会 公認ボート指導員 陸上競技コーチ 日本陸連公認 ジェニアコーチ	公務員	朝日町陸上競技協会 理事長
6	女性	20代	陸上競技	13年	1年	(公財)日本スポーツ協会 スポーツリーダー	地域おこし 協力隊	朝日町陸上競技協会 会員
7	男性	70代	卓球	60年	5年	なし	無職	朝日町卓球協会 会長
8	男性	40代	卓球	30年	11年	なし	会社員	朝日町卓球協会 会員
9	男性	60代	剣道	50年	39年	平成15年度全日本剣道連盟 公認社会体育指導員	自営	朝日町剣道協会 会長
10	男性	50代	剣道	40年	15年	なし	会社員	朝日町剣道協会 理事長
11	女性	60代	ソフトテニス	40年	35年	なし	無職	ソフトテニス 愛好家
12	男性	50代	ソフトテニス	40年	35年	なし	教員	朝日中学校 ソフトテニス部 顧問教諭
13	男性	30代	バレーボール	17年	3年	なし	会社員	朝日町バレーボール協会 会員
14	女性	60代	バレーボール	10年	25年	日本スポーツ協会 バレーボール指導員 スポーツ少年団認定員	会社員	朝日町バレーボール協会 会員

【文化部】

No.	性別	年齢	種目	競技歴	指導歴	指導者資格	現所属	備考
1	女性	50代	吹奏楽	35年	35年	なし	教員	朝日中学校 吹奏楽部 顧問教諭
2	女性	60代	吹奏楽	51年	45年	なし	リトミュージック 教室主宰	リトミュージック教室主宰 打楽器
3	女性	30代	吹奏楽	20年	14年	なし	音楽教室講師	(株)パワークス音楽教室講師 管楽器

◎主な活動場所

- ・朝日中学校【バスケ、バレー、吹奏楽】
- ・朝日町文化体育センター（サンリーナ）※朝日中学校に隣接  
第2体育館【バスケ、バレー、卓球】  
武道館【柔道、剣道】  
屋内・屋外グラウンド【陸上、ソフトテニス】  
テニスコート【ソフトテニス】

※施設利用調整等については、情報共有ソフト（Teams）を活用。  
また、子どものスポーツ団体支援事業において、朝日町内の  
子どものスポーツ団体の体育施設及び学校体育施設開放事業の  
施設利用料を無料としている。

◎活動頻度

週1～3回（平日1～2回、休日1回）  
※上記以外の日は学校部活動として実施。

【地域クラブ活動例】 月曜日、土曜日がクラブへ移行（活動時間の変更なし）

学校部活動       地域クラブ活動

今まで	曜日	日	月	火	水	木	金	土
	活動等	休養日	学校部活動	休養日	学校部活動	学校部活動	学校部活動	学校部活動

↓

R3年度（	曜日	日	月	火	水	木	金	土
	活動等	休養日	地域クラブ活動	休養日	学校部活動	学校部活動	学校部活動	地域クラブ活動



バスケットボール：第2体育室



柔道：武道館

◎活動費用

- ・指導者謝金

【運動部】

平日のみ … 4,000 円/月  
 平日・休日 … 6,000 円/月

※各競技協会等へ振込

【文化部】

専門講師(打楽器) … 13,000 円/回  
 専門講師(管楽器) … 6,770 円/回  
 兼職兼業教員 … 3,600 円/回

- ・スポーツ安全保険 生徒 … 800 円  
 指導者 … 1,850 円(65歳以上:1,200 円)

◎安全管理

- ・指導者及び参加生徒全員、スポーツ安全保険に加入。(※令和3年度については、公費負担)
- ・地域クラブに参加するにあたり、参加申込書において保護者より保険への加入及び緊急連絡先の使用の同意を得ている。
- ・地域クラブごとの緊急連絡網を作成。(指導者、顧問、学校、教育委員会等)
- ・教育委員会において、指導者に対する研修会を年1回開催。また、県教育委員会等による研修会等の参加を促す。

朝日町型 部活動コミュニティクラブ(地域と連携した部活動の運営)  
 ～部活動の見直しによる超過勤務時間の縮減～

朝日町では、生徒の部活動との多様な関わり方や職員の超過勤務時間の削減を目指し、部活動ガイドラインの遵守や地域資源を活用した部活動の地域連携を進めながら、教員の働き方改革を推進します。

令和3年度より「学校部活動」の一部を  
 「地域クラブ活動」に移行

- ・運動部: バスケットボール、陸上競技、柔道  
 剣道、卓球、ソフトテニス、バレーボール
- ・文化部: 吹奏楽



【朝日町文化体育センター】

部活動ガイドラインの順守

- ・平日のうち1日、土日のうち1日以上を休業日とする。
- ・活動時間は、平日2時間程度、休業日は3時間程度とする。
- ・部活動休業日は、年間104日以上、そのうち週末は、少なくとも52日以上とする。



【朝日町武道館】



朝日町の豊かなスポーツ環境



【テニスコート】

○隣接する施設

- ・朝日町文化体育センター
- ・第2体育館、卓球室
- ・グラウンド、テニスコート
- ・多目的広場
- ・武道館(柔道・剣道)
- ・屋内グラウンド
- ・中学校体育館
- ・まちなか体育館

○豊かな人材、協力的な組織

- 「実行委員会」
- ・朝日町体育協会
  - ・朝日町スポーツ関係団体
  - ・朝日町文化・芸術関係団体
  - ・朝日町PTA連絡協議会
  - ・朝日町小中学校校長会
  - ・朝日中学校
  - ・朝日町教育センター
  - ・富士大学
  - ・朝日町教育委員会

#### 4. 実践研究による成果等

- ①【どうしたら関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか】
- ・朝日町では、町体育協会を中心に各競技団体、学校関係者などから構成される朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会を発足し、町教育委員会が事務局として、朝日町型部活動コミュニティクラブの運営に関する協議及び業務を担ったり、学校・指導者等との全体調整会議を開催したりすることで、関係団体との連絡調整を図っていった。実行委員会の発足にあたっては、各団体との協議を繰り返しながら、全体での検討会を重ねるとともに、教員、生徒、保護者への説明の場を設けることで関係者の協力体制の確立に努めた。
- ②【どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか】
- ・学校部活動及び地域クラブの活動の施設利用等について、情報共有ソフト（Teams）を利用して、学校、教育委員会、体育施設管理者で情報共有をしている。
  - ・活動日誌により、指導状況等について、地域クラブ指導者と学校部活動顧問とで情報共有している。
  - ・県の保健体育科や県体育協会が主催する研修会の案内についての情報提供を地域クラブ指導者におこなっている。
- ③【どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか】
- ・地域クラブ指導者、学校部活動顧問、町教委との全体調整会議を開催し、活動により生じた課題等の解決に向けた協議をしている。
  - ・生徒、保護者、クラブ指導者、教員に対し、アンケート調査を実施することで、それぞれが感じている成果や課題について把握し、課題の解決に努めている。
  - ・持続可能な活動となるための費用負担の在り方について検討を重ねている。
- ④【どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか】
- ・体育協会や競技協会等との連携が必須と考える。
  - ・地域の指導者が部活動の指導に関わる機会を増やしていくことで、部活動をスムーズに地域移行化する環境が整うと考えられる。

⑤【実践研究における活動実績や得られたデータ】

クラブ活動日数

単位：日（部活動日数）

R3.5～12月	平日	休日	計
バスケ	19(116)	23(43)	43(159)
柔道	30(108)	14(38)	44(146)
陸上	29(112)	21(35)	50(147)
卓球	31(101)	14(36)	45(137)
剣道	27(114)	22(43)	50(157)
ソフトテニス	26(114)	23(49)	49(163)
バレー	30(114)	9(14)	39(126)
吹奏楽	4(114)	20(39)	24(153)

部活動のうち(運動部のみ)  
クラブ活動の割合 30.7%

- ・平日：24.7%
- ・休日：48.8%

教員の超過勤務時間の状況（R3.5～12月）

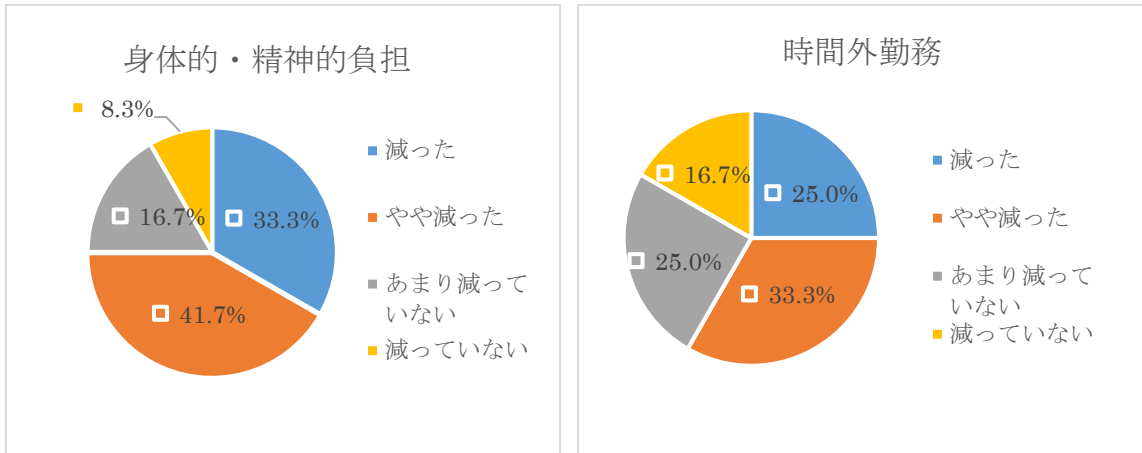
- ・33.5%の減（平日：13.5%の減、休日：77.8%の減）

※令和元年度との比較

## アンケート結果の概要

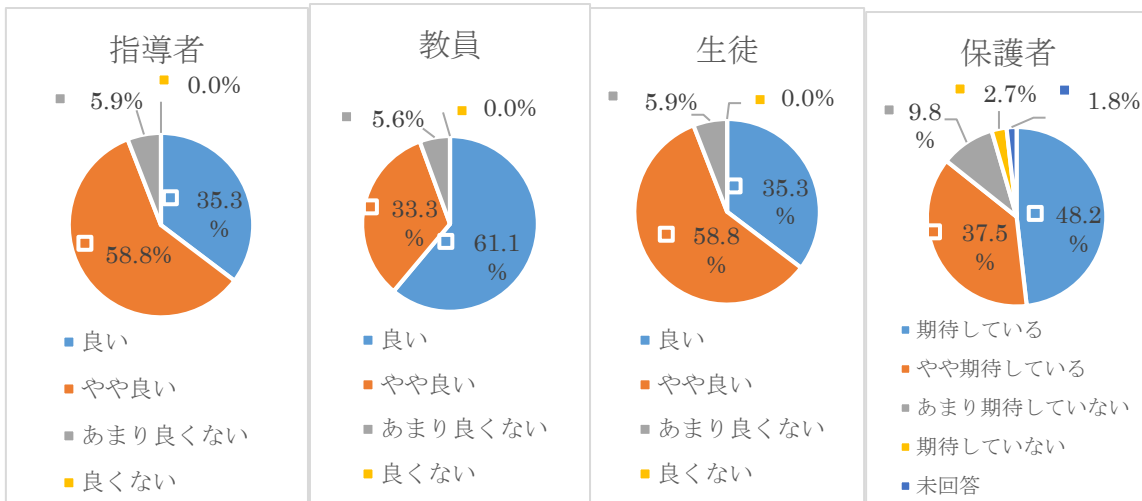
- ・教員による部活動への関与がなくなったことで、教員の休日等の勤務時間が削減され、また、身体的・精神的な負担も減っている。

【身体的・精神的負担の減：75%、時間外勤務の減：58.3%】



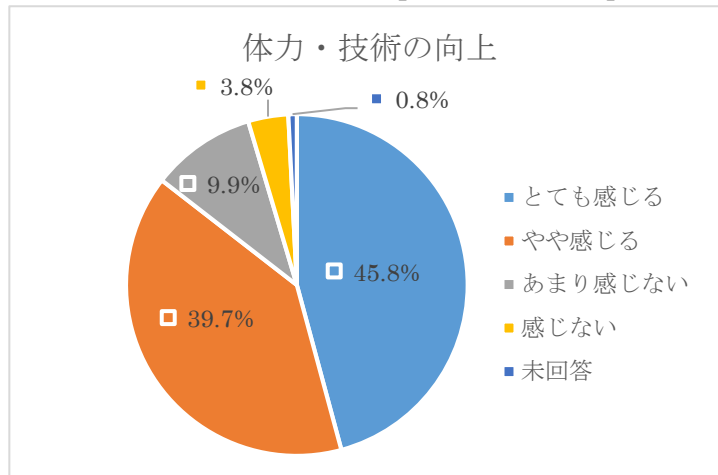
- ・地域クラブへの移行について、指導者、教員、生徒、保護者アンケートにおいて、「良い」「やや良い」など肯定的な回答が高い割合を占めた。

【指導者：94.1%、教員：94.4%、生徒：85%、保護者：85.7%】



- ・専門性の高い指導が受けられるようになり、体力向上だけでなく、技能・技術及び競技力が向上している。

【生徒の85.5%が「とても感じる」「やや感じる」と回答】



## 5. 継続的な運営に関する課題・展望

- ・活動日数を増やす場合、指導者の確保が必要であるが、平日の指導者を確保するのが難しいが、朝日町としては平日の地域クラブの日数を増やしていきたいと考える。
- ・専門的な知識と教育者としてふさわしい資質を兼ね備えた指導者を、それぞれの競技で複数人確保しなければならない。
- ・現在は国からの委託金を活用しながら事業を行っているが、継続的に活動を行うには、指導者謝金等に対する受益者負担が発生してくると考えられる。
- ・朝日町では、以前より、部活動指導員、スポーツエキスパート、外部指導講師として、学校部活動で指導していただいていた方がほとんどであったため、生徒たちは、スムーズに活動ができているようである。県や国の事業を活用しながら、地域の指導者が学校部活動に関わる機会を増やしていく必要がある。
- ・部活動の地域移行化が進むうえで、部活動指導員の配置支援事業に代わるような地域移行化を支援する事業の実施を国に期待する。
- ・中体連の大会引率にクラブの指導者がどのように関わっていくか検討が必要であり、大会の在り方についての動向について注視する必要がある。